

くるくるアニメ

【個人出展】

岡山県立東岡山工業高等学校 山村 寿彦

●どんな工作・実験なの？

スリット（すき間）からのぞくとアニメーションが見える装置を身の回りにあるもので作って観察しましょう。

●工作・実験のしかたとコツ

【用意するもの】

画用紙2枚（1枚は必ず黒）、白い紙（スリットの図と絵がかいてあるものの2種類）、ストロー3種類（5mm、6mm、8mmの太さのもの）

※画用紙と白い紙は円盤状に切り、中心に6mmのストローが通る穴をあけます。

※5mmストローは折り曲がるもの。

【工作のしかた】

- (1)画用紙と白い紙をのりではります（図2）。
※スリットの図がついたものは黒画用紙にはります。
- (2)スリットをはさみで切り抜きます（図3）。
- (3)約10cmの長さに切った8mmストローに約14cmの長さに切った6mmストローを差し込み、6mmストローの両はしを円盤の穴に差し込みます（図4）。
- (4)5mmストローを折り曲げ、図5のように差し込んで完成です（図6）。

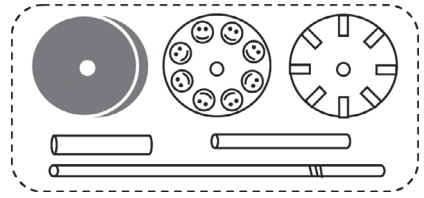


図1 材料

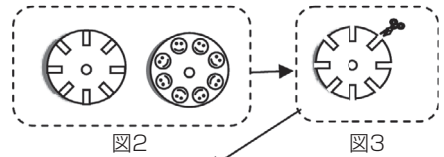


図2

図3

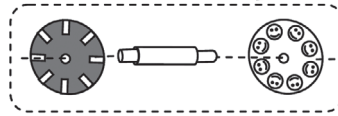


図4

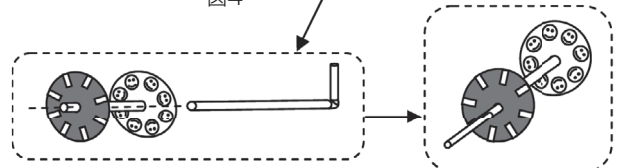


図5

図6 完成

【実験のしかた】

- (1)くるくるまわして・・・
- (2)すき間から見ると・・・

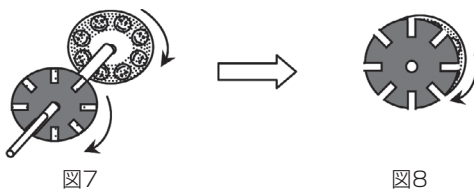


図7

図8

あら不思議！
絵が動いて見えるよ！！

●気をつけよう

はさみを使うときはけがをしないように気をつけましょう。

●もっとくわしく知るために

- ・この装置をフェナキスティスコープといいます。どうして絵が動いて見えるのかな？自分で調べてみましょう。
- ・フェナキスティスコープについては以下のウェブサイトを参考にしてください。

URL <http://site.ngk.co.jp/lab/no86/>